

( 様式 2 )

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	川西市立 東谷小学校 主幹教諭 奥村 具見子	研究グループ名 ( 川西市算数科研究会 )	採択番号
-----------------	---------------------------	--------------------------	------

研究テーマ分類番号 ( 1 )

県教育委員会のホームページに掲載します。

(1)研究テーマ
「子どもと創る算数学習」
(2)研究経過及び具体的な取組
研究の概要 7月 5日 本年度の活動方針と取り組みについて ・場 所：牧の台小学校 ・内 容：本年度の活動方針と取り組みについて メンバー紹介と年間計画作成 7月30日 (午前)算数科研究会 ・場 所：川西市教育情報センター ・内 容：「子どもが考えだす時、伝えあう時 ～子どもの生きる算数的活動のある授業～」について ・講 師：川西市牧の台小学校 主幹教諭 (午後)本年度の方向性を話し合う ・場 所：川西市教育情報センター 8月3～4日 第95回全国算数・数学教育研究(山梨)大会に参加 ・場 所：山梨大学教育人間科学部付属小学校 ・内 容：学習指導法分科会 参加 ・成 果：ハンズオン・マス研究会や名古屋市数学研究会等の各地域の取り組みの発表を 聞き、本研究会と同じように研究しているグループが多いことを感じた。しか し、教師がどのように助言し、手助けしていくのかということについては、ま だまだ研究していかななくてはならないと感じた。 8月24日 第9回関西算数授業研究会に参加 ・場 所：大阪教育大学附属池田小学校 ・内 容：「算数授業力を追求」授業公開を行う。 ・成 果：1人の授業公開をさせていただくことができ、実際の授業の発表の場として体 験することができた。また、他の授業を参観することで2学期以降の授業づく りの参考とすることができた。 9月13日 第1回4年公開授業の指導案検討 ・場 所：明峰小学校 ・単 元：「どんな計算になるのかな」

10月 4日 公開授業(4年「どんな計算になるのかな」)

- ・場 所：東谷小学校
- ・内 容：演算を適切に選び、立式・計算し、その根拠をことばや図などを用いて説明させる。
- ・成 果：最初の問題で、問題文のどの言葉に着目したらいいのかを考えさせ、式と結びつけて考えるように進めた。説明するに当たっては、線分図を使うことも助言してみんなにわかるような言葉を考えるようにさせた。その結果、子どもたちが、それぞれに自分なりに考えて発表する姿を見ることができた。また、線分図にも抵抗なく取り組み、言葉も考えながら伝えることができた。

11月22日 第2回4年公開授業の指導案検

- ・場 所：緑台小学校
- ・単 元：「どんな計算になるのかな」(前回の授業を受けて同じ単元で)

12月 3日 公開授業(4年「どんな計算になるのかな」)

- ・場 所：緑台小学校
- ・講 師：大阪教育大学附属池田小学校 教諭
- ・内 容：演算を適切に選び、立式・計算し、その根拠をことばや図などを用いて説明させる。
- ・成 果：(授業者より)

授業の導入を子供たちと一緒に問題を作ったので、子どもたちが意欲的に取り組んでいた。ワークシートについては、4問すべてを考えさせるのではなく、1問だけを取り上げ、その後に残りの3問に挑戦できるように工夫した。線分図を使った発表が出てきたときに子どもたちから声上がり盛り上がった。そこで、線分図に方向が向いてしまったため、目あてから少し離れた授業になってしまった。

(講師より)

いろんな考えが出てきたが、それぞれの考えをつなぐような工夫がほしかった。式と線分図を比べたり、絵と線分図を比べたりしながら式の説明をさせる工夫が必要だ。そのためには、説明することを言葉で書き表すことが大事だ。発表の時にプロジェクターを使って発表させたのは、よかった。映すだけでは、内容が消えていくので、黒板に記録として残していくと、比べることができてよかったのではないかな。今後は、教師の助言をどこで、どのように出すといいのかを考えていくとよい。